

履修モデル

学位取得に向けて研究するために、研究課題に即した適切な授業科目を選択しなければならない。そのため、以下の履修モデルを参考に研究課題に即したオリジナルな履修計画を立てることとなる。

健康・栄養科学専修	研究題目	穀物由来の食物繊維の栄養化学的研究
	養成する具体的な人材像	将来において研究者として自立して研究活動を行い、高度に専門的な知識と技術を必要とする業務に従事しうる能力を涵養する
	研究内容	国民健康・栄養調査の結果によれば、日本人は長年に渡り、食物繊維摂取量が不足している。その原因として穀物摂取量の減少が挙げられる。ダイエットを目的とした間違った低糖質食が穀物離れを助長している。一方、日本人の食事摂取基準2020年版によれば、食物繊維摂取量は数多くの生活習慣病の発症率又は死亡率との関連が検討されており、メタアナリシスによって数多くの疾患と有意な負の関連が報告されているまれな栄養素であると記載されている。そこで、本研究では穀物中の食物繊維の機能性に焦点をあてて、栄養化学的手法、分子生物学的手法を駆使して、穀物中の食物繊維の機能性についてメカニズムを含めて検証することを目的とする。機能性としては、腸内細菌叢の改善を介した消化管機能、糖代謝、脂質代謝への影響を検討する。穀物素材としては、大麦、全粒小麦、ライ麦、玄米、えん麦（オート麦）の中から選択し、 β -グルカン、アラビノキシラン、レジスタントスターチの作用の違いや加工による機能性的変化なども研究対象とする。これら研究成果を栄養士・管理栄養士に情報提供し、健康の維持増進に穀物摂取が重要であることを再認識させたい。
	指導教員	青江誠一郎教授 栄養化学的評価について
履修科目	栄養素機能学研究（2単位）、食品機能科学特論（2単位）、運動生理学特論（2単位） 研究指導Ⅰ（2単位）、研究指導Ⅱ（2単位）	
生活環境学専修	研究題目	無文字社会における身体技法による生活文化の伝承とその学習過程
	養成する具体的な人材像	人間の生活を根源的に探求し続ける研究者を養成する
	研究内容	無文字社会で人間は如何に生活文化を伝承してきたかに関する研究を行う。調査対象を東南アジアの山岳少数民族無文字社会に生きる山岳少数民族とし、そこで行われている文化的営為として女性の機織や男性の家の建築を取り上げ、これらの物質文化を人間がその身体技法によってどのように設計し、計測し、道具を用いて製作してゆくのかを研究する。さらにその技術は親から子に、さらに孫に文字を用いずに、どのように伝承しているのか。子どもたちはその技術をどのように学習しているのか。それらの伝承システムはいかなるものであるのか、をフィールド調査とその厳密なデータ化と統計解析によって探求する。
	指導教員	阿部栄子教授 機織の伝承技法に関する指導 金田卓也教授 子どもの発達と技術の伝承に関する指導
履修科目	発達環境学研究（2単位）、比較子ども文化研究（2単位）、被服設計学研究（2単位） 研究指導Ⅰ（2単位）、研究指導Ⅱ（2単位）	
保育・教育学専修	研究題目	幼児の立体造形におけるイメージと発達段階
	養成する具体的な人材像	保育・教育に関する理論的・実践的な研究と指導に従事できる高度な知識・技術と研究能力を備えた人材
	研究内容	幼児期の造形活動は創造的な表現力の基礎を培う上で極めて重要であると共に、そこに科学的思考の萌芽を見ることが出来る。これまでも幼児の造形活動の中で絵画のような平面的描画表現についてはさまざまな研究が行われてきたが、彫塑のような立体的表現に関してはその発達段階も含めて必ずしも十分に目が向けられてこなかった。本研究では幼児が自分で思い描いたイメージを立体造形の中でどのように表現するのか、発達段階に着目しながらそのプロセスを明らかにする。方法としては粘土や木材など多様な素材を準備した幼稚園の造形コーナーにおいて園児が作りたいもののイメージをどのように造形化していくかというプロセスを観察と動画撮影により詳細に記録し、使用された素材と道具と関連付けながら年齢別に分析する。
	指導教員	金田卓也教授 研究全体の指導
履修科目	発達臨床学特論（2単位）、理科教育方法論（2単位）、比較子ども文化研究（2単位） 研究指導Ⅰ（2単位）、研究指導Ⅱ（2単位）	